

この自己点検・評価報告書は、麻生公務員専門学校北九州校の平成29年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

自己点検・評価 報告書

麻生公務員専門学校北九州校

平成30年 3月 31日

校 長 富田 博之

自己点検・評価責任者

校長代行 小原 秀史

目 次

基準 1	理念・目的		- 2 -
基準 2	教育の内容		- 2 -
基準 3	教育の実施体制		- 4 -
基準 4	教育目標の達成度		- 6 -
基準 5	学生支援		- 7 -
基準 6	学生募集・受け入れ		- 8 -
基準 7	社会的活動		- 9 -
基準 8	管理運営・財務(学校・グループ)		- 9 -
基準10	改革・改善・情報提供		- 11 -

※基準9は評価対象外

評価結果

S:達成度がきわめて高い
A:ほぼ達成している
B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)
C:達成は不十分で改善を要する(不適合)
2017 年度より、評価基準をより具体的なものにするとともに、内容をより掘り下げたものに改訂した。

平成29年度
(2017 年度)

=====

基準 1 理念・目的

=====

基準1 総括

建学の精神や教育理念、教育目的・目標については、ホームページやパンフレット等を通じて校内外へ発信している。また、これらの目標を達成するための計画も教職員会議等の結果をもとに作成され、保管・配布している状況である。

見つかった課題

現状で十分基準を満たしている。

改善策又は改善の方向性

建学の精神や教育理念、教育目的・目標について、今後は教職員間での共有、学生への周知の場面をより増やしていくことが望ましい。

中項目 1－1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 建学の精神・法人の理念・学校教育理念・学科の教育目的・育成人材像について、明文化、共有、公表とも十分に実施されている。

小項目 1－1－1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教育理念や方針、行動規範などを盛り込んだ麻生塾オリジナルカードを職員が携帯している。また、教育理念と行動規範は朝礼にて唱和している。パンフレットや募集要項などの印刷物に教育理念、行動規範、ビジョン、校訓等を盛り込み提示している。

小項目 1－1－2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学生便覧などの印刷物やホームページの中で教育理念や方針等を盛り込んでいる。また、同資料を用いて学生への説明を行っている。入学時だけではなく、授業を通じてあらためて周知を行っている。

小項目 1－1－3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教務会議で本校の教育理念や教育目標が校長代行から示され、教員で検討する機会があり、教員間で意見交換を行っている。また、パンフレットや募集要項などの印刷物に本校の教育理念を示している。

小項目 1－1－4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 「法人の理念」および「学校の教育理念」に基づいて、各学科の教育目的や育成人材像の目標を設定している。また学生便覧や募集要項などの印刷物にそれらの目標を示している。

小項目 1－1－5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学生便覧などで育成人材像、カリキュラム一覧表を文書化しており、全学生に明確に提示している。また、年度開始時にそれらを用いて学生への説明を行なっている。パンフレットやホームページにて学科別の教育目標、年間ターム等を提示している。

=====

基準 2 教育の内容

=====

基準 2 総括

カリキュラム内容については、外部の方々の意見も取り入れ、検討・改善を行っている。また、教職員についてもアンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、質の高い教育サービスが提供できるような制度を整えている。育成人材像やシラバス・コマシラバスについては作成し、そのうちシラバスについては学生に提示している。

見つかった課題

シラバス・コマシラバスは備わっているが、それが教員全体の共有という点が課題である。

改善策又は改善の方向性

全体の合意でシラバス・コマシラバスを作成し、誰が授業担当となっても授業の内容・質に違いがないようにする。
=====

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 カリキュラム内容については、外部の方々の意見も取り入れ、検討・改善を行っている。また教職員についても、アンケート評価、評価結果に基づく研修制度等を準備しており、質の高い教育サービスが提供できるような制度を整えている。

小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 複数の学校関係者の意見を取り入れ、「全体の奉仕者」としての資質と実務能力を持つ有能な人材を育成するための教育課程を編成している。また、学修成果の評価方法は学生に具体的に示している。

小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各学科に応じた育成人材像、カリキュラム一覧表を作成・文書化しており、学生便覧やホームページ等で明確に提示している。

小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各学科を担当する教職員でカリキュラム・シラバス作成会議を開催している。また、シラバスを前期後期それぞれの開講前に学生に配布し、説明を行っている。

小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見

を取り入れているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教育課程編成委員会には業界関係者、近隣住民・保護者代表の者などが参加し、カリキュラムの作成・改善にその意見が反映されている。

小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント シラバス、コマシラバスについては、科目担当者間で話し合い整合性を図りながら作成している。作成されたシラバスについては本校の共有ファイルで全科目集約管理している。

中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 シラバス・コマシラバスを作成し、それに基づいて授業を展開している。また、定期的に授業内容や進捗状況を科目担当者間で共有し、授業アンケート等で学生の意見も取り入れた上で、検討・改善を行なっている。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント シラバス・コマシラバスの内容を前期・後期それぞれ開講前に科目担当者間で共有している。また研修や学生による授業評価等を定期的に行なっている。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント シラバスを前期・後期それぞれ開講前に学生に配布し、説明を行なっている。また全教員がシラバスに基づいてコマシラバスを作成し、それに沿って授業を展開している。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 年度開始時に学生便覧を用いて評価基準を説明している。また、より客観的に評価するため、複数の教員の意見を取り入れている。

中項目 2－3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 授業の改善のための教師アンケートや研修制度は充実している。今後の課題は、教師間の授業見学や科目担当者での勉強会を充実させることである。

小項目 2－3－9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント 授業アンケートを年 2 回(前期・後期)実施している。改善の余地がある場合は、管理職による面談を行っている。

小項目 2－3－10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取り組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： A

■コメント 麻生公務員専門学校福岡校と連携して、各学科又は担当科目の教員により会議を行い、教科書開発や情報共有など、授業改善のための組織的取り組みを行っている。

小項目 2－3－11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント 麻生塾全体で教員研修計画を作成し、教員のスキルアップを図るべく研修を実施し、教員も研修に参加している。

=====

中項目 2－4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 すでにキャリア教育、リメディアル教育とも十分実施されている状況である。

小項目 2－4－13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 公務員校特有の授業内で、公務員の職種研究を行っている。また授業においてキャリア教育を組み込んでいる。

小項目 2－4－14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 入学前の学生に対する事前講義や補講等を実施し、入学後も放課後に数学等の基礎教育を行なっている。またインターネット教材を活用して自主的に基礎学力を身につける仕組みを整えている。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

基準 3 総括

教育課程に対してふさわしい教員組織を満たしており、非常勤講師とも協働して業務にあたっている。また、公務員採用試験に専念できる環境を整えるため、教室のほかにも面接指導室やパソコンルーム、トレーニングルームなどの施設設備を準備している。

見つかった課題

入学者が増加しており、面接指導室やパソコンルーム等の改善が必要である。

改善策又は改善の方向性

学生数増加に対応した施設整備のさらなる充実が望まれる。パソコンルームや面接練習ルームを増設して対応する予定。

=====

中項目 3－1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教員要件や教員数、校地・校舎等について、専修学校設置基準、福岡県の私立専修学校設置認可取扱基準で定められた要件や基準を満たしており、基準その他法令を遵守している。学生数については年度により入学者数、進級者数が増減するため、全体にて調整を行っていく必要がある。

小項目 3－1－1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教員は、専修学校設置基準、福岡県の私立専修学校設置認可取扱基準で定められた要件及び教員数を満たしている。また、担当科目等を考慮して各学科に人員を適切に配置している。

小項目 3－1－2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、専修学校設置基準、福岡県の私立専修学校設置認可取扱基準で定められた面積を満たし、必要な付帯施設を備えている。今後、入学者に応じて改善が必要となる。

中項目 3－2

教育の実施体制を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 クラス数を元に十分な常勤講師の員数を備えている。また、主要科目については担当できる教員が複数名おり、授業担当者以外の教員からもサポートが受けられる体制となっている。非常勤講師とも情報交換を密に行っている。

小項目 3－2－3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各科目・分野別に教員が複数在籍しており、必要十分な教員数といえる。また、年齢構成も 20 代・30 代・40 代と

複数在籍している。

小項目 3－2－4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各学科の教員及び管理職が定期的に非常勤講師の授業進捗状況を確認し、情報交換を行っている。また非常勤講師が作成した報告書を定期的にチェックしている。

中項目 3－3

教育環境を整備・活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 学校の設備・備品を整備する体制や災害や事故に関する予防措置をしっかりと行っており、安全で快適な学校生活を維持している。

小項目 3－3－5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント パソコン、複合機、コピー機、印刷機等、固定資産は管理している。

小項目 3－3－6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたいで実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 自治体へのインターンシップにあたり安全対策を含む注意事項を文書化し、実習前に対象学生に対して配布・告知を行っている。学生・生徒災害傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入している。

小項目 3－3－7

防災・防犯設備〈非常灯・消火器・警備システム等〉を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。その都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。

小項目 3－3－8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ラウンジや面接指導室を設置し、その場所を利用し、学生がパソコンや書籍を使用して就職活動を行っている。また同会場を用いて進路相談や面接指導を行っている。

小項目 3－3－9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 2018年3月より3階に図書コーナーを設置し、公務員試験や公務員の業務内容に関する書籍、就職に関する書籍などを備える予定。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

年度開始時に目標を全教員で共有している。教員全体で目標達成のために協働した結果、合格率等のほとんどの目標をしっかりと達成できている。

見つかった課題

客観的な数値目標についてはほとんどの項目で達成している。

改善策又は改善の方向性

より向上させるために学科、学年を超えた協働関係を強化していく必要がある。

中項目 4－1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 全教員での目標の共有し、随時進捗状況を確認している。年度末に数値結果を取り纏め、振り返りを行い次年度に向けた申し送り事項を確認し、改善につなげている。また、結果についてはホームページやパンフレット等を通じて毎年公表している。

小項目 4－1－1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学生便覧に各科学習指導方針が具体的に規定されており、学歴を付与する者の要件が記載されている。また、その内容は官公庁の現状を踏まえ規定されたものである。

小項目 4－1－2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。期末試験の成績は麻生塾システムへ入力するとともに別表を作成・印刷して文書として保管している。また模擬試験等についてもデータを保管するとともに文書でも管理している。

小項目 4－1－3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 事業計画書にて数値目標を設定している。設定した内容については教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教職員間で共有している。公務員試験の結果については、合格率を算出し、結果を分析。状況に応じた補講の実施や、次年度以降の指導に役立てている。

小項目 4－1－5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 事業計画書にて数値目標を設定している。設定した内容については教務会議やキックオフ会議にて教職員間で共有している。公務員試験については受験先、内定先を全体にてデータ管理し、担任が随時情報を更新している。民間企業の就職活動についても、担任を中心に就職部と連記して就職支援を行っている。また年度末に公務員試験合格率や就職率等を算出し、その結果をもとに教務会議等で振り返りを行なっている。

小項目 4－1－6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教務会議やキックオフ会議にて目標数値を教員間で共有している。また学生数の状況を教務室に掲示し、教員間で情報を共有できる環境を整えている。退学者・保護者・担任との面談を報告書として記録に残し、教員間でも情報を共有するとともに退学事由等を分析・集約し、事後の学生指導に役立てている。また、ホームページにて在籍者数や卒業生数に加えて退学者数を公表している。

基準 5 学生支援

基準 5 総括

学校生活で学生が担任やスクールカウンセラーによる面談を常時受けられる体制を整えている。また、保護者を含めた三者面談も定期的に行っており、学生をサポートする体制がしっかりと設けられている。さらに、奨学金制度も充実しており、学生を経済面から支援する体制も十分ある。

見つかった課題

学校の特性上、海外留学や部活動に参加する学生が少ない。

改善策又は改善の方向性

海外留学や部活動のさらなる充実が課題である。

中項目 5－1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 担任をはじめ、全ての教員が学生一人ひとりを大切にし、学生・保護者としてしっかりと連携を取りながら学校運営を行っている。

小項目 5－1－1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 入学前後や公務員試験申込前に担任と学生の面談を実施している。また成績や生活状況に応じて随時面談を実施し、その結果について記録表を作成し保管している。

小項目 5－1－2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 公務員試験の受験指導に当たって保護者を交えた三者面談を実施している。また成績や学校生活の状況、保護者からの要望に応じて面談を実施し、報告書を作成・保管している。

小項目 5－1－3

キャリアサポート関連の有資格者（キャリアカウンセラー等）を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 本校内に就職部があり、就職担当の指導員が常駐している。また、公務員試験に不合格となり民間企業への就職に切り替えた学生に対して、キャリアカウンセラーによる面談や指導を行う体制を整えている。

小項目 5－1－4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 定期的にカウンセラーが来校し、必要に応じて学生が相談でき、また随時メール等でも相談できる体制を整えている。

小項目 5－1－5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ハラスメントに関する専用の相談メールアドレスがあり、専門の担当者の相談を受けられるようになっている。なお、このメールアドレスは学生便覧に記載されており、入学時に学生に告知している。

小項目 5－1－6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学費免除制度を準備しており、パンフレット等で公表している。また、学生支援機構など学外の奨学金制度が利用できる体制を整えている。

小項目 5－1－7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学科の特性上、留学生や社会人を受け入れていない。障がい者に関しては受け入れた上、学校生活に支障のないよう各教員が協力して対応している。また障がい者卒の公務員試験の情報を該当学生に告知するなど特別な配慮を払っている。

小項目 5－1－8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 運動系・文科系クラブ活動を複数設けている。学生に対して 1 年に 1 度説明会を実施して、入部を積極的に促している。

中項目 5－2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 姉妹校と協力して校友会(同窓会)を設置し、定期的に校友会総会を開催している。

小項目 5－2－10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 校友会(同窓会)の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して民間求人を紹介している。また、公務員を再受験する卒業生に対して、試験情報の提供や面接指導などを行っている。実際に、民間企業や公務員試験に多くの卒業生が再就職できている。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

募集要項やパンフレットに育成人材像、入学試験の基準、学費等必要な情報が明記されており、またそれに基づいて入学選考、入学手続きが行われている。

見つかった課題

特に問題はない。

改善策又は改善の方向性

近年は入学希望者が増えているが、人ひとりの入学希望者に対してこれまでと同様にしっかり説明責任を果たしていかななくてはならない。

中項目 6－1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 募集要項やパンフレットに育成人材像、入学試験の基準、学費等必要な情報が明記されており、またそれに基づいて入学選考、入学手続きが行われている。

小項目 6－1－1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 募集要項にアドミッションポリシーを明記している。

小項目 6－1－2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 本校の広報担当者や教員が定期的に高等学校を訪問し、進路指導担当者と意見交換を行っている。また、広報会議でニーズを集約し、学生募集活動に反映させている。

小項目 6－1－3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 合格実績や公務員試験結果を、パンフレットや HP にて正確に公表している。また、卒業生の活躍については、パンフレット内での掲載のほか、オープンキャンパス内でも卒業生に講話をしてもらって伝えている。

小項目 6－1－4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント パンフレットに学科ごとに育成人材像、目指す就職先、修得できる知識や技術を明示している。

小項目 6－1－5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 募集要項に学費の内訳、支払時期および金額、その他教材費等の概算の金額を明示している。

小項目 6－1－6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 募集要項に入学者の選抜方法を明示しており、入学者選考を公正かつ適切に実施している。また、広報会議で入学者選考を定期的に検証している。

小項目 6－1－7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各学科にて適切な募集定員を設定している。また、収用定員内で在籍学生数を適正に管理している。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

本校が公務員として活躍できる人材を輩出することを目的としているため、学生には積極的にボランティア活動に参加することを促している。その中で現在北九州ボランティア大学校や社会福祉協議会、福岡県警察と連携して学校全体で社会的活動を実施している。

見つかった課題

全学生のすべてのボランティアについて報告書が提出されているわけではない。

改善策又は改善の方向性

教員により事前・事後の管理をしっかりとすることが課題。

中項目 7－1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 学生のボランティア活動については、行政や民間団体との連携体制が整っており、多くの学生が積極的に参加している。また、教員による高校生向け講座なども充実している。

小項目 7－1－1

学生に対し、計画に基づく社会的活動（地域活動、地域貢献、ボランティア活動等）を推進し実施しているか。（制度上の問題がなければ単位認定）

■自己点検・評価結果： S

■コメント 北九州ボランティア大学校や自治体等と連携し、講義や活動を通じて学生にボランティアを推進している。また活動の度に報告書を提出させている。また、学則や単位認定に関する規定に従い、条件を満たした学生に対してボランティア活動に関する単位認定を行うことができるようになっている。

小項目 7－1－2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 現役高校生を対象とする高2コース、高3コースを開講している。高校での出張授業を実施している。

小項目 7－1－3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 北九州ボランティア大学校や北九州市、福岡県警、福岡県庁などと連携してボランティアを実施している。

基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）

基準 8 総括

組織の運営・管理については、会議の開催や文書の配信によって情報共有ができている。財務体制については、予算計画書・報告書の作成や会計検査の実施など適切な運営を行っている。

見つかった課題

組織の・運営・管理についての情報共有に関しては、改善の余地がある。

改善策又は改善の方向性

より情報共有の場を増やすことが望まれる。

=====

中項目 8－1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 全教職員が所持している麻生塾ルールブックにも管理・運営上のルールが記載されており、規程どおり運営されている。

小項目 8－1－1

各学校、各グループで運営会議（教務会議・グループ会議等）を定期的に行き、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 各学科における教務会議、就職年次における受験年次会議、全体教務会議等を定期的に行き、また、議事録を作成・発信し、指定されたフォルダに保管している。

小項目 8－1－2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌（業務の内容および責任・権限）を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 組織図や各種委員役割分担表などで各職員が職務分掌を理解している。また、年度開講前の教務会議で確認を行っている。

小項目 8－1－3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行き実施しているか

■自己点検・評価結果： A

■コメント 防災・防犯対策に関するマニュアルを作成し、教務室内に常時備え置いており、教職員がそれを見ることができる環境を整えている。また、防災・防犯対策に関して責任者の決定や各教職員の役割分担などを行っている。避難訓練も学生、教職員で定期的に行っている。

小項目 8－1－4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 個人情報に関する規程を準備しており、同規程に基づいて教職員が活動している。

小項目 8－1－5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント ハラスメント防止規定を作成・文書化しており、それに基づいて教職員が活動している。

小項目 8－1－6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 研修計画を全職員が共有ファイル上で閲覧できる環境にあり、責任者と相談した上で業務遂行上必要な研修を実施している。

=====

中項目 8－2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 法令・学内規程に基づき、適切に処理されている。

小項目 8－2－7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 年度予算、中期計画書を作成している。

小項目 8－2－8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 月次予算実績報告書を作成し、定期的な確認、分析が行われている。

小項目 8－2－9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

小項目 8－2－10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント 2018年3月より図書コーナーを設置する予定。図書の管理・運用については、教員で協議の上、適切に行なっていく予定。

基準 10 改革・改善・情報提供

基準 10 総括

麻生塾全体で自己点検・評価に関する規程が定められており、各校から選出された自己点検・評価委員により構成される委員会を定期的開催している。また、本校が取り組んでいる活動について委員を中心に定期的に自己点検・評価活動を行っている。

見つかった課題

現在は、自己点検・評価委員を中心とした活動に留まっている。

改善策又は改善の方向性

活動する上でより多くの教職員の意見を反映させていくことが課題。

中項目 10－1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 自己点検委員・評価委員会により点検を行い、教職員で協議の上改善を行なっている。

小項目 10－1－1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 自己点検・評価委員の活動や評価結果を実施後に教職員へ発信している。また、共有ファイル上で評価結果を閲覧できる環境にしている。改善活動には教職員全体で取り組んでいる。

小項目 10－1－2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 自己点検・評価委員の報告で挙げられた改善項目についてフォローアップシートを作成し、改善計画を策定した上で実行している。また改善項目については毎年度点検を行っている。

小項目 10－1－3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学内でのみ使用される用語を避け、外部の方にも理解しやすい表現で作成している。

中項目 10－2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括 法令を遵守し、教育活動やその他学校運営の状況に関する情報提供を行なっている。また、年1回開催している学校関係者評価委員会の中で、外部の学校関係者に対して公表している。

小項目 10－2－6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 教務会議やキックオフ会議にて情報提供の意義を教員間で共有し、学校情報を卒業生に対しては年に2回、総会がある年は3回、在校生に対しては毎月、学校通信という形で郵送している。

小項目 10－2－7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 学校の基礎的情報を含めた必要な情報を提供している。また、学校関係者評価委員会の中で挙げられた意見を
集約し、教育活動の改善を行なっている。

小項目 10－2－8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント 高等学校に対しては、学生の合格状況、就職状況を書面にして適宜訪問し、報告している。また、ホームページ上
のブログなどを通じて随時学校の情報を知らせている。